洋上アルプス

NO. 20

平成８年１１月５日
屋久島森林環境保全センター発行
鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦１５７７－１
TEL 09974-2-0331　FAX 09974-2-0333

JICA研修員来島
海外研修員と国際交流

このほど、国際事業協力団の依頼により、海外林業技術研修員五名が来島し自然遺産保全調整官の案内によりヤクスギランド等で現地研修を行いました。

その後、同調整官宅で夕食会を催し保全センター職員等との懇親をはかりました。

十月三十日、三十一日の両日、森林研究研修林業コースの一行が屋久島を訪れました。

研修員は中国、タイ、ケニア、メキシコ、ペルーの五カ国五名の大学教授等で、森林総合研究所が行っている現地研修の一環として来島したものです。

一行は、自然遺産保全調整官の案内で貯木土場、紀元杉ヤクスギランド、千尋の滝、屋久杉加工場を視察し、三一日には当保全センターを訪れリモートセンシングＴＭデータや空中写真等の活用方法の説明に、熱心に聞き入っていました。

また、三十日の夜には自然遺産保全調整官宅に研修員を招いての夕食会を催しました。

当日は保全センター職員及び町内の森林事務所森林官を始め、森林総合研究所九州支所職員三名の参加もいただき総勢二十名と、大変賑やかな夕食会となりました。

慣れない英語での自己紹介に始まり最初はぎこちなかった会場の雰囲気も、研修員それぞれが母国の歌を披露したり、全員でのスキヤキソングの合唱をきっかけに会話も弾み、大変有意義な夕食会となりました。

山岳部利用対策協議会開催

平成八年度第三回屋久島地区山岳部利用対策協議会を十月三十日屋久島環境文化研修センターで開催し、夏休み期間中の活動報告や、協議会の今後のあり方について協議しました。

始めに、期間中の実施報告や各関係機関の意見等が出され、縄文杉周辺においては、展望デッキ設置に伴い、マナーが向上したことや旧高塚小屋周辺でのゴミ対策等についての感想等が出されました。

協議会では、今後も、マナー啓発活動等を強化していくとともに効果の上がる活動の検討について協議していくことを確認して終了しました。

係員研修を終えて

所員　河本　正人

今回の、係員研修により全課程無事に終了し卒業することができました。

この研修は、森林官等を養成するもので、今後は現場第一線の森林官として勤務することになります。

現在私は、保全センターで森林の保全等についての業務をおこなっていますが、これまでは、営林署で森林施業についての業務を学んでまいりました。

私は、森林官を希望するに当たって戸惑いや不安等もありますが、現在環境問題等が叫ばれる中、この経験を生かし森林の保全と人間の利用の両面を生かした業務を遂行していきたいと思います。

また、現在の国有林野事業は大変厳しい状況に立たされています。

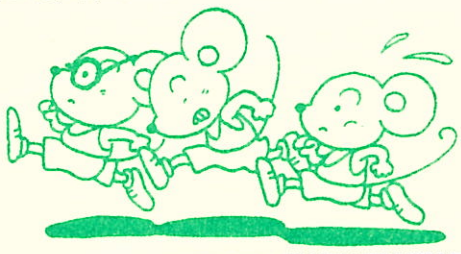
しかし、厳しいからこそ楽しく災害のない明るい職場を目指して、地元の人から親しみをもたれ地域に密着した森林事務所にしていきたいと思います。

現在は、どこに配属になるかは分かりませんが、これからも皆様のご指導をよろしくお願いします。

米丸森林官が大活躍

一〇月一〇日上屋久町町民体育大会が開催され、保全センター職員と地元森林官の精鋭が職場対抗リレーと一五〇〇m及び五〇〇〇mの三種目にエントリーしました。

特に、一五〇〇mと五〇〇〇mでは、小瀬田森林事務所の米丸森林官が優勝し見事二冠に輝きました。



また、昨年優勝の職場対抗リレーでも期待が集まり、各選手とも日頃登山等で鍛えた脚力を武器に健闘しましたが惜しくも優勝を逃してしまいました。

屋久島の植物

ナナカマド（バラ科）

落葉小高木、樹皮は灰褐色浅裂し、横に細長い皮目がある。小枝は紫紅色、冬芽は濃紫紅色、頂芽は大きく長さ二cmになる。奇数羽状複葉を互生し、側小葉は五～六対まれに七対でほぼ無柄、頂小葉は長柄がある。葉縁には鋭尖単鋸歯または重鋸歯を有しており両面ともほとんど無毛である。五～七月頂生の複散房花序に白花を密生する。梨果は秋に紅熟して紅葉とともに美しい屋久島を南限として、北は樺太まで分布する。向陽の適潤地を好んで生育するが、屋久島では縄文杉をはじめ屋久杉の大径木に着生しているのを良く見かける。名前のいわれは材が燃えにくく、七回かまどで焚いても燃え残ったことからこの名がついたらしい。